

第一工業製薬
HPはこちら



四日市市議会連合審査会

産業生活常任委員会 都市・環境常任委員会

企業視点から見る四日市コンビナートの現状と展望 ～設備投資と環境対策の両立に向けて～



2026年1月19日
証券コード:4461(東証プライム)

目次

1. 会社紹介・自己紹介

2. 主な事項

- 設備投資や環境対策など、事業活動における取組み
- 四日市市に対する期待と提言



本社(京都駅前)



研究所(京都市南区)

自己紹介 IR用



1992年 3 月 三重県立四日市工業高等学校 卒業
1992年 4 月 当社採用 四日市工場 製造課 配属



2014年 4 月 人事総務本部 人事総務部長
2016年 4 月 双一力(天津)新能源有限公司 総経理
2018年 4 月 双一力(天津)新能源有限公司 董 事
2019年 6 月 財務本部 財務部長
2020年 4 月 執行役員 生産本部長
2022年 4 月 執行役員 管理統括(コーポレート統括)
2022年 6 月 取締役 管理統括
2023年 4 月 取締役 (経営執行を分離)
2025年 4 月 代表取締役 常務取締役(現任)

・菰野中学 ラグビー部 → 四日市工業ラグビー部 所属

・趣 味:ゴルフ、ラグビー観戦、茶道、一之宮巡り、東寺参拝

代表取締役
常務取締役
(CFO)

しみず しんじ

清水伸二



会社概要



創業 1909年(明治42年)
資本金 88億9,500万円
従業員数 594名(連結1,138名)
所在地 京都市南区東九条上殿田町48番2(本社)
京都市南区吉祥院大河原町5 (研究所)

2025年3月31日現在



▶新中期経営計画「SMART 2030」

【単位:百万円】

120,000

売上高
営業利益

100,000

80,000

60,000

40,000

20,000

0

・アクチャル(既存)事業の収益改善
・ネクスト(周辺)事業の拡大
・ドリーム(新規)事業の黒字化

半導体関連など
注力分野の開発

価格是正

ライフ
黒字化
に目途

21/3月期

22/3月期

23/3月期

24/3月期

25/3月期
(予想)

26/3月期
(計画)

27/3月期
(計画)

28/3月期
(計画)

29/3月期
(計画)

30/3月期
(計画)

FELIZ 115

SMART 2030

・電子材料
・サステナブル材料
・ディスプレイ材料

Phase 1

震工場などの
現有資産の
活用最大化

80,000

76,500

81,000

8,200

5,500

6,500

・半導体材料
・電池材料
・においビジネス

Phase 2

新規開発の収益化

86,000

92,000

7,500

8,400

10,000

総資産回転率=1.0

20,000

15,000

10,000

5,000

0

第一工業製薬(DKS)のはじまり



◇3人の創業者



中村 嘉吉郎



負野 小左衛門



小野 茂平

社 是

産業を通じて、国家・社会に貢献する

社 訓

品質第一、原価逡減、研究努力

◇1909年 絹織物の原料となる蚕(カイコ)の繭(マユ)をほぐす
薬剤の研究開発・販売からスタートしました



創業の地 負野薫玉堂

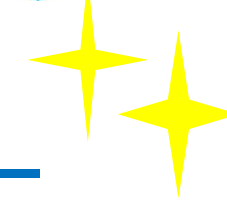


玄武印マルセル石鹸

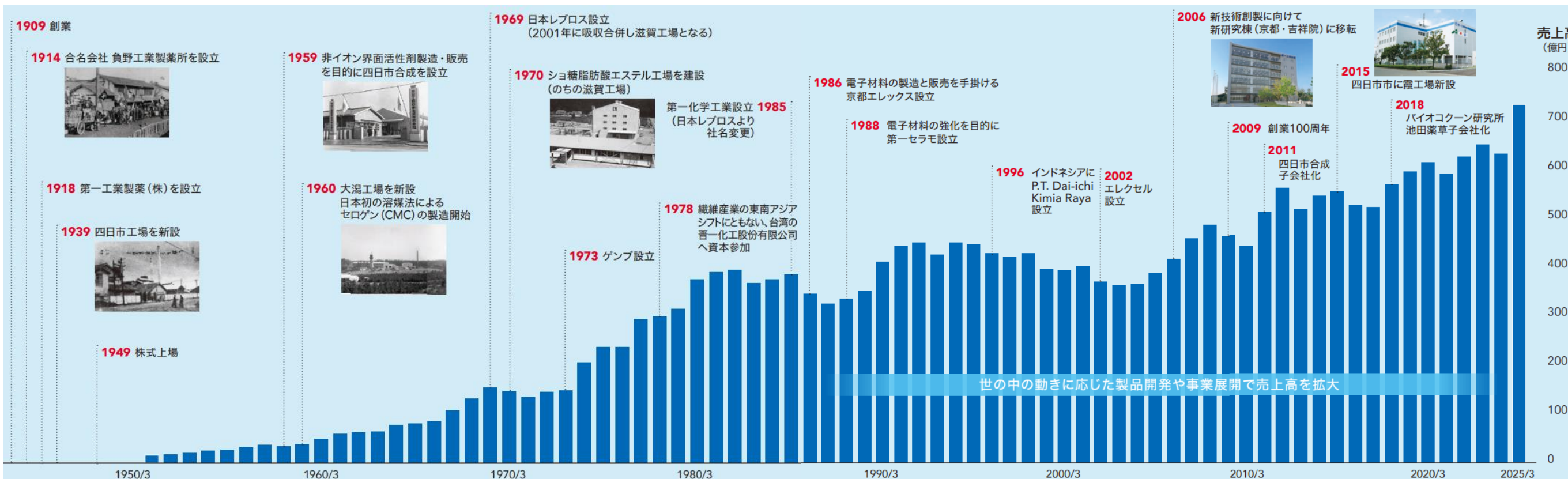


モノゲン

当社の歴史



京都で116年培った技術と信頼をもとに
ユニークで独自性の高い工業用薬剤を提供する化学の素材メーカー



第1の創業

紡績の発展と共に石鹼・洗剤の必要性から
四日市倉庫様からお声がけ頂いた

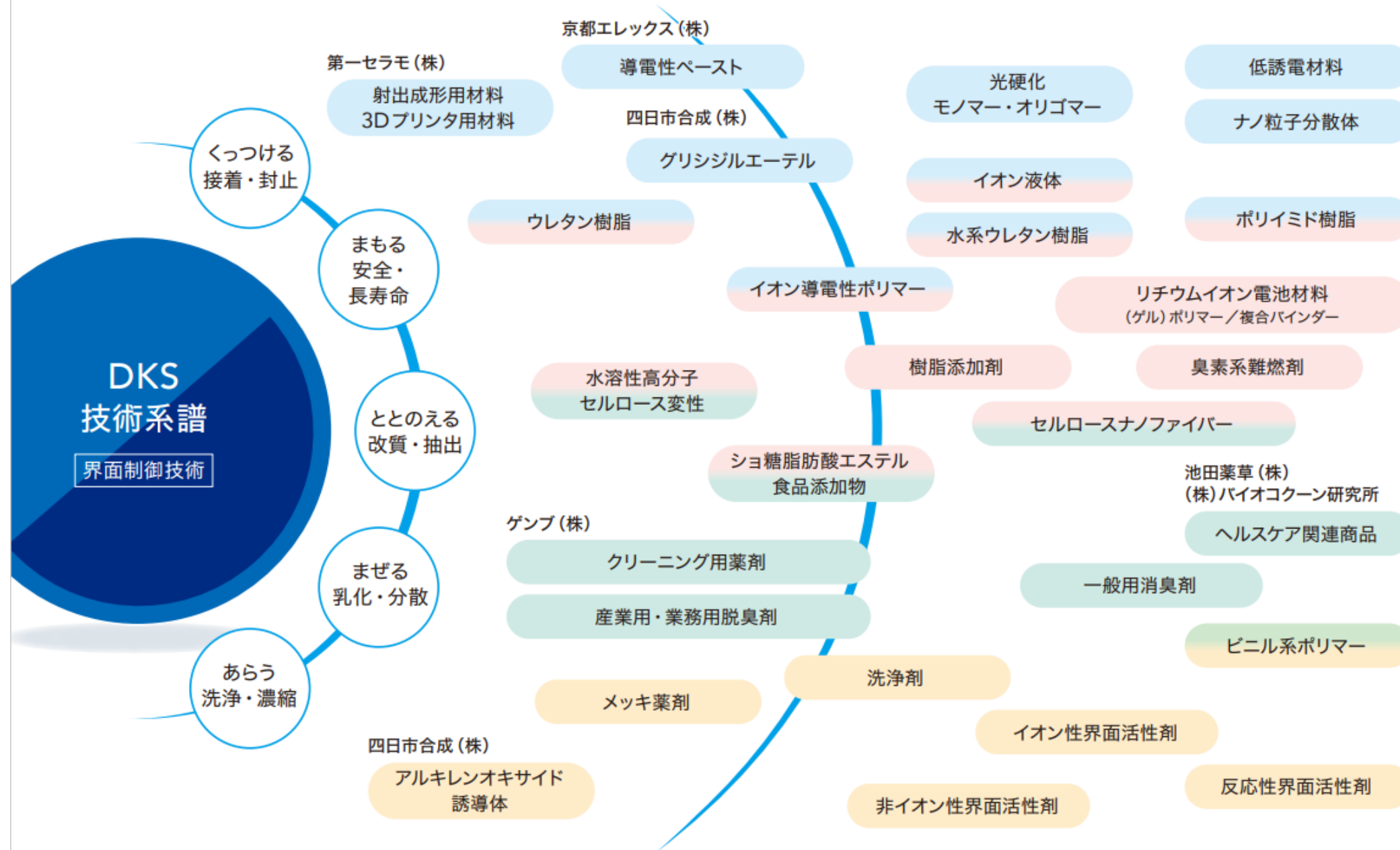
第2の創業

家庭品撤退→工業用薬剤に集中

第3の創業

ライフサイエンス分野に参入

第一工業製薬の保有技術



電子・情報



環境・エネルギー



ライフ・ウェルネス



コア・マテリアル



注力分野① 電子・情報関連



✓パソコン・スマートフォン等のIT・電子材料に使用される部品に
高機能的な性能を付与

実装基板

- ▶ コーティング剤
- ▶ 導電性ペースト

リードフレーム

- ▶ 酸化防止剤

プリント基板材料

- ▶ 熱架橋性低誘電樹脂

普及が進む高速大容量
データ通信 (5G) に貢献

パッケージ材料

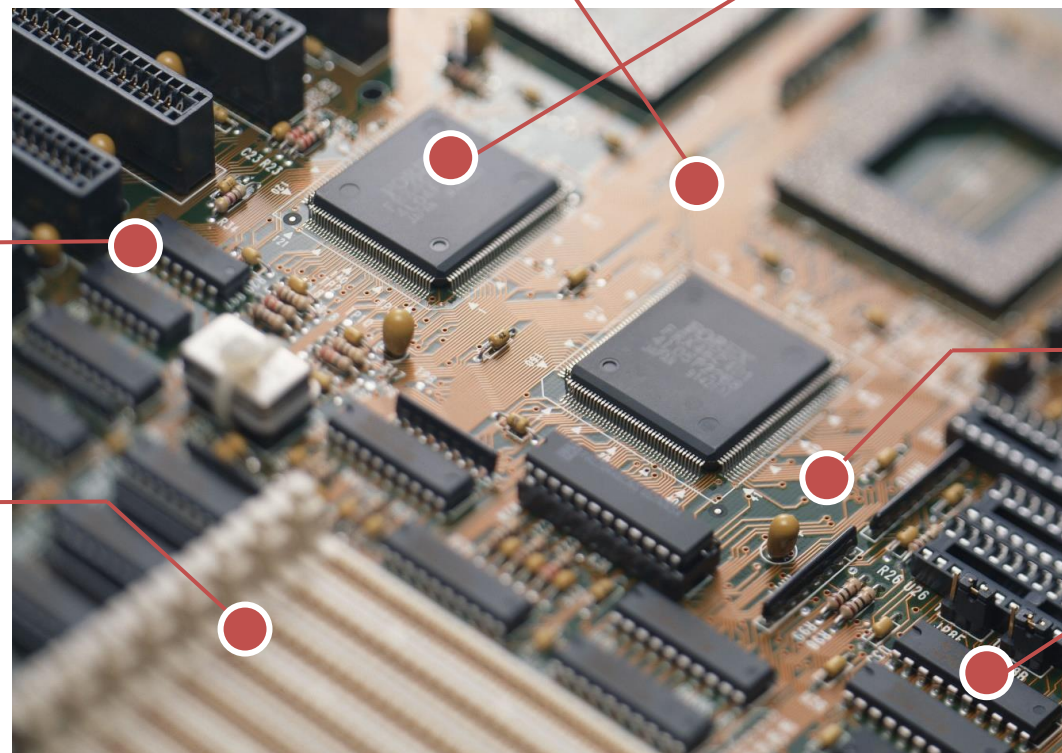
- ▶ リン系難燃剤
- ▶ 放熱ギャップフィラー
- ▶ 樹脂系封止材、接着剤

洗浄剤・分散剤

- ▶ 高機能洗浄成分 有機アルカリ

ガラスクロス

- ▶ 帯電防止剤「カチオーゲン®」



注力分野②-1 リチウムイオン二次電池

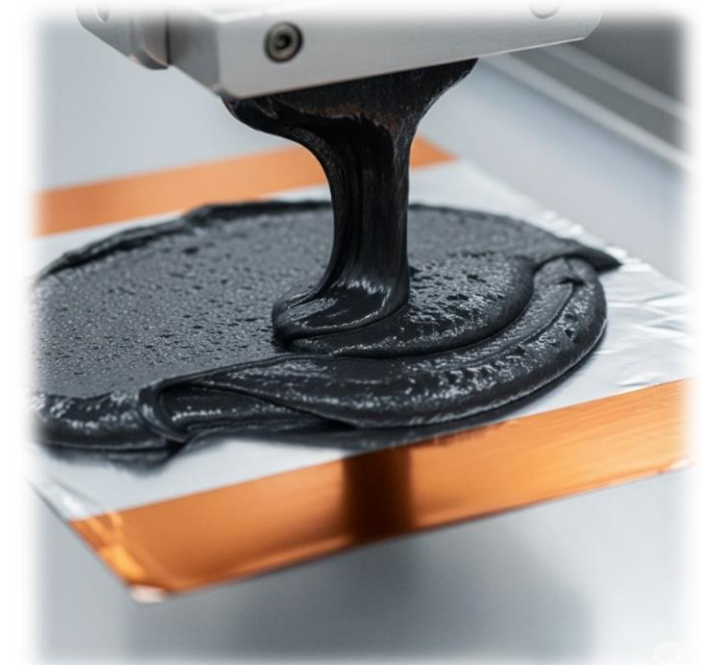
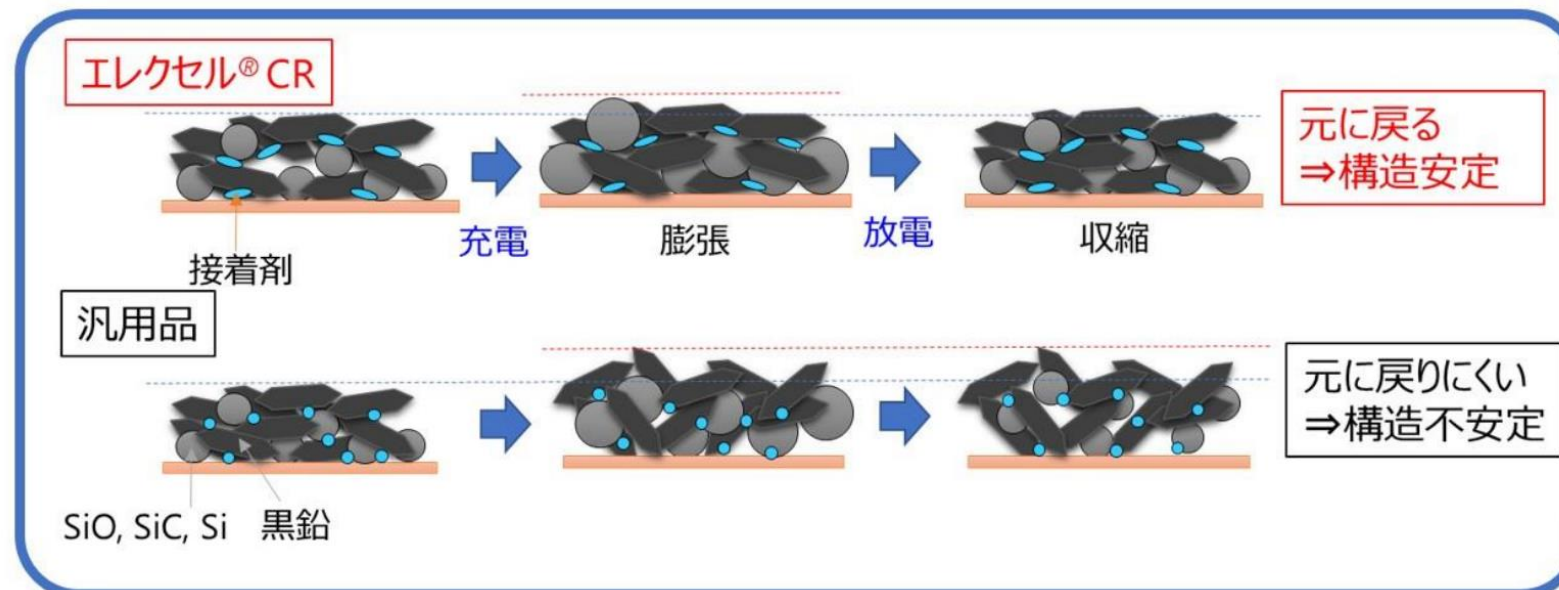


負極用水系複合接着剤「エルクセル®CR シリーズ」 生産能力増強リチウムイオン二次電池の高容量・長寿命化を実現！！

「エルクセル®CR シリーズ」は、シリコン系材料を100%使用しながらも、電極の安定性を保ち、**高容量化、長寿命化**を実現します。

樹脂の弾性率や強度を調整し、負極材の膨張と収縮に対応できる特性を持ち、高い構造復元性を示します。

小型機器やEV分野での成長が期待されています。



注力分野②-2 リチウムイオン二次電池



リチウムイオン二次電池 負極用水系複合接着剤
四日市工場 霞地区に約30億円の設備投資を決定！

リチウムイオン二次電池の需要増加に対応するため、四日市工場霞地区において設備投資を行います。

投資額は約30億円、2027年度の稼働開始を予定しています。さらなる事業展開に向け、供給体制の構築を積極的に進める予定です。

【詳細はこちらからも確認いただけます】

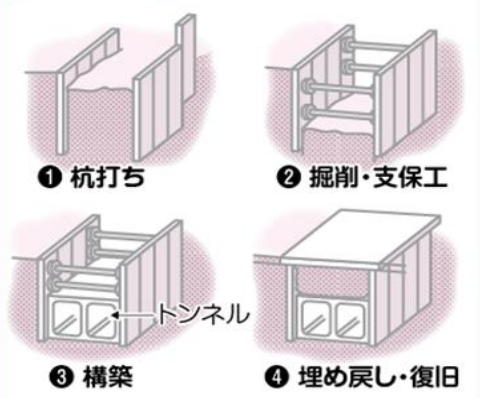
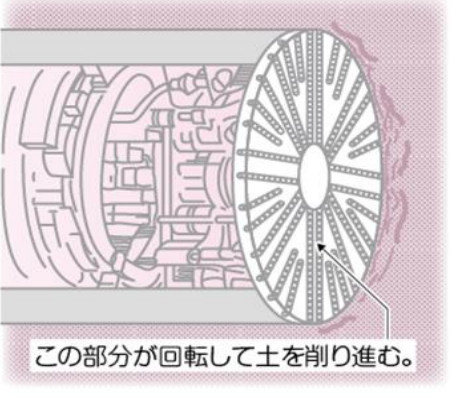
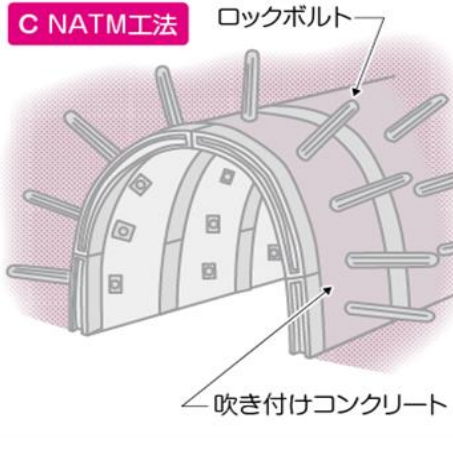
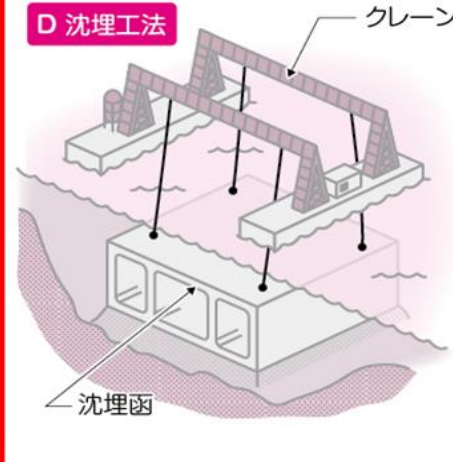


第一工業製薬 四日市工場霞地区全景
所在地:三重県四日市市霞 1-23-5

四日市工場 製品の使用用途（岩盤固結剤）



NATM工法の
補助工程に、当社の
岩盤固結剤が使用
されております！

<p>A 開削工法</p>  <p>① 杭打ち ② 掘削・支保工 ③ 構築 ④ 埋め戻し・復旧</p> <p>トンネル</p>	<p>B シールド工法</p>  <p>この部分が回転して土を削り進む。</p>	<p>C NATM工法</p>  <p>ロックボルト 吹き付けコンクリート</p>	<p>D 沈埋工法</p>  <p>クレーン 沈埋函</p>
駅部等	比較的地質が軟らかい都市部の地下鉄等	比較的地質が硬い山岳部の道路、鉄道等	海中トンネル

注力分野③ 健康寿命延伸とQOL(生活の質)向上



快脳冬虫夏草

冬虫夏草由来成分(ナトリード)を
機能性関与成分とする初めての
機能性表示食品

<ヘルスクレーム>

中高年の認知機能の一部である
認知機能速度や**視覚的
な記憶力**を維持する
のに役立つ



NIOCAN

気になる**ニオイ**を**瞬間キャンセル**！
天然精油を用いた**中和消臭法**で、
消臭・除菌します



NIOCANがTVで紹介されました！
「注文の多い初キャンプ」
25.6.15 OA



※肖像権、二次利用は使用許可を得ています



設備投資や環境対策など、事業活動における取組み

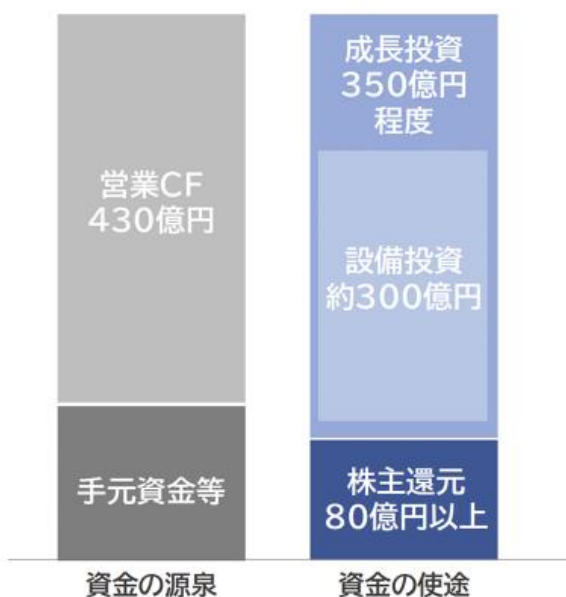


設備投資

中期経営計画 キャッシュアロケーション

2026年3月期～2030年3月期

2026年3月期～2030年3月期(累計予想)



● 成長投資

■ 設備投資

- ・既存設備の更新や増強
- ・新規開発案件投資

■ 人的資本投資

- ・能動的に選択できる教育の仕組みおよび環境構築

■ サステナビリティ、M&A等

- ・成長分野の技術取得と顧客基盤拡大を狙ったM&A推進
- ・省エネ設備の計画的な導入
- ・再生可能エネルギーの利用拡大（太陽光発電、再エネ電力）

● 株主還元

- 連結配当性向40%以上を最終目標とし、利益成長に合わせて積極的な株主還元を実施

● 足元では、設備投資額が5年前に比べて約3倍近く高騰しており、リソースの再見直しを実施

- 現状を踏まえた助成金制度を活用できるのか
- 地元施工企業の発注採用率向上

● 企業連携を強化できる体制構築

- 地元企業連携によるメリット
- 工場用地を購入利用しやすい整備(投資促進)

● 既存設備の老朽化対策(大きな課題)

- 大企業様からの支援が困難(エネルギー)
- 日本技術として残す必要がある事業支援
CMC:カルボシメチルセルロース [CMC工業会](#)
- 安全安定支援(DX/AI/ロボット/産官学連携)



1. 四日市環境産業アカデミー(仮)(産官学共同人材育成)

対 象

若手技術者
現場リーダー
行政技術職員
学生(高専・大学)

プログラム

環境規制と実務の両立
プロセス安全・環境設計
GX・エネルギー管理
現場見学+課題解決型演習

2. 環境規制・制度のサンドボックス (企業が挑戦でき、行政も学べる関係)

- 新技術導入時の規制特例(助成を含めて新たなチャレンジを！)
- 環境負荷低減を条件とした柔軟運用(将来リスクの未然防止のための工法検討 調査ではなく工法)
- データ共有による迅速な行政判断

3. 当社のような中堅企業の役割


当社が担うべきポジション

- 複数工場を持つ“アンカー企業”
- 産官学のハブ
- 技術と現場をつなぐ翻訳者

具体的アクション

- 共同インフラの初期構想リード
- 実証テーマの提供
- 産官若手人材の派遣・受け入れ
- 他社・行政との信頼形成





四日市市に対する期待と提言



中堅企業が持続的に発展するためには

廃棄物⇒製品化

1. 事業ポートフォリオの再構築

- コモディティ依存からの脱却
- 「売上」よりも操業継続性・付加価値を重視

2. キャッシュ創出力を最優先する経営

- 不採算設備・遊休資産の定期的な見直し
- 設備投資＝成長投資＋操業維持投資の明確な区分管理

3. 研究テーマの3階層管理

- 既存事業深化(収益源)
- 隣接市場展開(3～5年)
- 次世代の種(5～10年)
- 自社で最後まで量産できる技術への集中

4. 顧客と一体化した開発体制

- 研究所と工場の分断解消(現場主導R&D 生産技術研究所設立)

5. 設備と操業の再設計

- 老朽設備の計画的更新(突発停止の回避)
- 24時間操業を前提とした人・設備・IT設計

6. エネルギー・環境対応の内製化

- エネルギー多様化(電力PPA、廃熱回収、燃料転換)
- VOC・排水・**廃棄物対応**を競争力に変える
- 地域・自治体と一体となった操業継続モデル策定

7. 現場人材の確保と高度化

- 技能伝承を「属人」から「仕組み」へ
- ベテラン×若手×DXの融合
- 高専・大学・地域との長期的な人材循環

8. 経営人材の層の厚み

- 技術・製造・営業を横断できる人材育成
- 「事業責任者」を育てる評価制度
- 50代後半～60代の知見活用(顧問ではなく実務)

9. ESG・ガバナンスの実装

- 形式的開示ではなく操業と直結したESG
- 安全・環境事故ゼロ＝最大の企業価値
- 株主・金融機関・地域からの信頼確保

10. M&A・アライアンスの戦略活用

- 技術・人材・設備を「買う」選択
- 国内外の中小・専門企業との連携
- 単独成長に固執しない柔軟性

